

VLBI懇談会 学生セッション報告

酒井大裕（東京大学 博士課程2年）

2016年12月27日

学生セッション開催概要

目的

討論を交わすことで交流を深め、互いを高め合うこと

具体的に、

- ・ 学生のみ参加可
- ・ 参加者は全員口頭発表
- ・ 質疑応答時間を長くにとって、**積極的な発言を推奨**

運営形態

VLBI懇談会役員会に学生幹事として1名(2014年度より酒井)

- 学生セッションの取りまとめ、本シンポとの連携
- メーリングリストや年1,2回程度のスカイプ会議で
役割分担・開催内容などを議論、学生幹事の選出
- 学生であれば誰でも参加可能
 - メーリングリストに入っていないなくても学生セッションには参加可能

2016年度 学生セッション報告

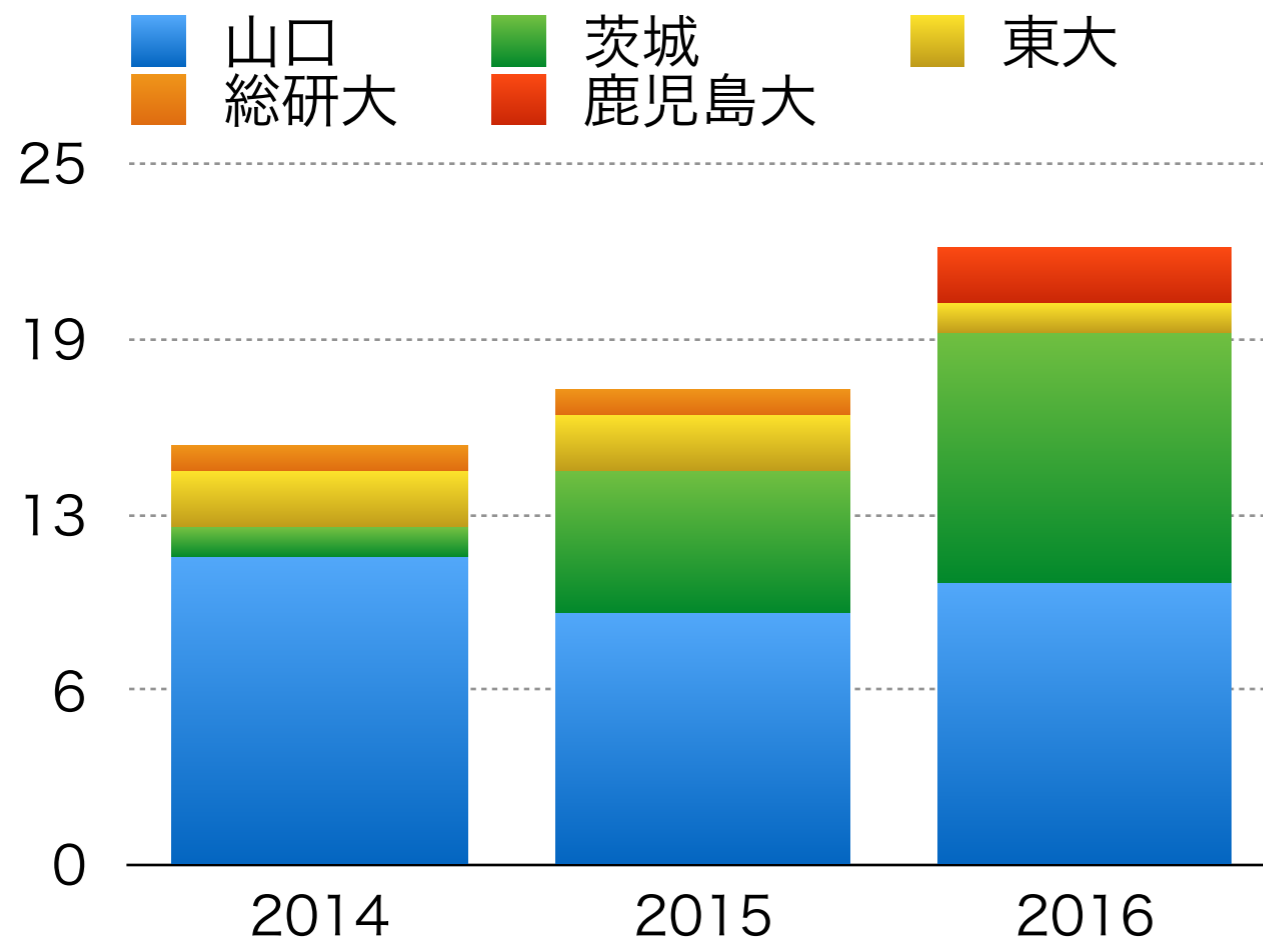
2016/12/25(日) 14:30 - 18:10

26(月) 9:15 - 12:30

参加者 22名 (学部生からD2まで)

山口大学 10名, 茨城大学 9名, 鹿児島大学 2名, 東京大学1名

分野別：星形成・恒星 13件, AGN 5件, 銀河系 2件, 装置 2件



着実に規模は拡大している

学生セッションについて課題点

今後さらに参加者が増えると発表時間が圧迫される可能性

- ・現状の参加機関の状況からは25名を大きく超える可能性は少ないか
- ・他機関からの参加者も増やして幅を広げていきたい
- ・必ずしもVLBI観測の発表に限らない
 - 実際、半数はVLBI観測局を用いた単一鏡観測

参加者数は開催場所に依存する

- ・（本シンポも含めて）学生の旅費の一部補助等の必要性
 - 学生幹事の役員会出張費を削る？
 - 次の学生幹事の出張費はどうする？
 - V懇談会全体での議論が必要



10分 1回
12分 2回
15分 3回
発表は1人
次の司会
懇親会 73

大学
UNIVERSITY